

根釧西部署 鶴居森林事務所（阿寒郡鶴居村鶴居西4丁目番外地）に利用した木材に係る炭素貯蔵量（CO₂換算）

延べ床面積	国産材 利用量	国産材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
48 m ²	20 m ³	15 t-CO ₂	20 m ³	15 t-CO ₂

この表示は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」（令和3年10月1日付け3林政産第85号林野庁長官通知）に準拠し、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素（CO₂換算）の量を示すものです。木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物等に利用していくことは、「都市等における第2の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

【計算式】

木材の材積(m³) × 密度(t/m³) × 炭素含有率 × 44/12 = 炭素貯蔵量(CO₂換算) (t-CO₂)

【計算】

○ 集成材 土台 ヒノキ	0.56	m ³	×	0.383	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.4 t-CO ₂
○ 集成材 桁・柱 カラマツ	3.38	m ³	×	0.435	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	2.7 t-CO ₂
○ 集成材 管柱 カラマツ	2.64	m ³	×	0.435	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	2.1 t-CO ₂
○ CLT 柱・天井 カラマツ	3.79	m ³	×	0.435	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	3.0 t-CO ₂
○ 羽柄材 トドマツ	5.93	m ³	×	0.348	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	3.8 t-CO ₂
○ 合板 野地・壁 カラマツ	2.86	m ³	×	0.542	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	2.8 t-CO ₂
○ 角材 エゾマツ	0.25	m ³	×	0.374	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.2 t-CO ₂
○ 角材 トドマツ	0.25	m ³	×	0.348	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.2 t-CO ₂
○ フローリング 樹種不明	0.18	m ³	×	0.542	t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.2 t-CO ₂
										計	15.4 t-CO ₂

（責任者名） 北海道森林管理局 総務企画部 経理課 経理課長

（連絡先） TEL 050-3160-6281